

第9回免疫サマインターンシップ2019受け入れ研究室一覧(地域以外は順不同)/ 9th JSI Immunology Summer Internship 2019, Entry for host lab

地域(日本国内)	ラボ名称	責任者 職・氏名	実習内容	受け入れ可能期間	企業受入
北海道	北海道大学遺伝子病制御研究所 病態研究部門免疫生物分野	教授・清野研一郎	施設見学、近隣の教授との懇談、ジャーナル及びブログレスセミナー参加、実験の見学、データ解析実習、プレゼン練習	随時(要相談)	
北海道	北海道大学遺伝子病制御研究所 分子生体防御分野	教授・高岡晃教	近隣の施設見学、近隣の教授との懇談、Labセミナー参加、実験の見学、簡単な実習	7月～8月(要相談)	
北海道	北海道大学大学院薬学研究院 衛生化学研究室	教授・松田正	実験の見学、実施、データ解析実習、施設見学、ジャーナル及びブログレスセミナー参加	随時(要相談)	
北海道	北海道大学遺伝子病制御研究所分子神経免疫学	教授・村上正晃	「病は気から」「慢性炎症」の研究体験・実験の実施(免疫染色、FACS、cell sorting、qPCRなど)、ミーティング参加、ジャーナルクラブ発表練習など	1週間程度、随時(要相談)	可
東北	東北大学加齢医学研究所 生体防御学分野	教授・小笠原康悦	近隣の施設見学、近隣の教授との懇談、ジャーナル及びブログレスセミナー参加、実験の見学、データ解析実習、プレゼン練習	7月～8月、その他の期間(要相談) 当該研究室に大学院進学を考えている方	不可
東北	東北大学加齢医学研究所 遺伝子導入研究分野	教授・高井俊行	近隣の施設見学、近隣の教授との懇談、ジャーナル及びブログレスセミナー参加、実験の見学、データ解析実習、プレゼン練習	随時(要相談)	可 (守秘義務契約が必要)
関東	東京医科歯科大学医歯学総合研究科 分子免疫学分野	教授・東みゆき	近隣の施設見学、近隣の教授との懇談、ジャーナルクラブ及びラボミーティング参加、実験の見学および実施、プレゼン練習	8月(要相談) 大学院進学を考えている方	不可
関東	筑波大学医学医療系 免疫学研究室	教授・渋谷彰	近隣の施設見学、近隣の教授との懇談、ジャーナル及びブログレスセミナー参加、実験の見学、データ解析実習、プレゼン練習	随時(要相談)	
関東	国立国際医療研究センター 免疫病理研究部	部長・鈴木春巳	実験の手伝いと見学、ジャーナル及びブログレスセミナー参加、データ解析実習	7月～8月(要相談)	
関東	理化学研究所 免疫転写制御研究チーム	チームリーダー・谷内一郎	細胞のソーティング、データ解析等の実習と見学、Meetingへの参加	7月～8月(要相談) 大学院進学を考えている方を優先	
関東	横浜市立大学大学院医学研究科 免疫学教室	教授・田村智彦	施設見学、各プロジェクトの紹介、実験見学や簡単な実験実施、スタッフとの懇談、セミナー参加	随時(要相談)	可
関東	東京医科歯科大学難治疾患研究所 免疫疾患分野	教授・鐔田武志	実験の見学、実験手技演習、抄読会参加	随時(要相談)	可
関東	千葉大学医学研究院 免疫発生学	教授・中山俊憲	近隣の施設見学、研究室スタッフたちとの懇談、ブログレスセミナー参加、実験の見学	7月1日頃～8月24日頃(要相談)	可
中部・東海・北陸	愛知医科大学医学部 感染免疫学講座	教授・高村(赤司)祥子	ELISA(抗体価測定)、末梢血ギムザ染色など	2、3日～1週間程度、随時(要相談)	可
中部・東海・北陸	金沢大学がん進展制御研究所 分子生体応答研究分野	教授・向田直史	実験(FACS・免疫染色等)の見学・実施、データ解析の実習	8月19日～30日、1週間単位	可
近畿	大阪大学大学院医学系研究科・感染症免疫学講座 ／生命機能研究科・個体機能学講座 免疫細胞生物学教室	教授・石井優	2光子励起顕微鏡を用いた生体イメージング実験の見学	随時(要相談)	
近畿	和歌山県立医科大学先端医学研究所 生体調節機構研究部	教授・改正恒康	実験(免疫組織採取、ES細胞インジェクションなど)の見学(状況次第では実際に行えます)、データ解析実習、プレゼン練習	7月～9月、その他の期間(要相談)	可
近畿	京都大学大学院医学研究科分子生体統御学講座 医化学分野	教授・竹内理	近隣の施設見学、近隣の教授との懇談、ジャーナルセミナー及びブログレスレポート参加、実験の見学・実施、データ解析	随時(要相談)	可
近畿	大阪大学医学系研究科免疫制御学	教授・竹田潔	実験の見学、データ解析実習	随時(要相談)	不可
近畿	大阪大谷大学薬学部 免疫学講座	教授・戸村道夫	カエデマウスを用いた臓器間免疫細胞動態のフローサイトメトリーと可視化解析	随時(要相談)	可 (要相談、条件あり)
近畿	Laboratory of Malaria Immunology Immunology Frontier Research Center (IFReC) Osaka University	Cevayir COBAN	Experimental studies and observations, Journal Club presentation, data analysis practice	July	
中国・四国	高知大学医学部免疫学	教授・宇高恵子	ジャーナル及びブログレスセミナー参加、実験の見学・実習、データ解析実習	8月(要相談)	不可
中国・四国	徳島大学先端酵素学研究所 免疫系発生学分野	特命教授・高濱洋介	科学を考える、科学者と交流する、実験や議論に参加する	随時(要相談)	
中国・四国	徳島大学先端酵素学研究所 免疫病態学分野	教授・松本満	ジャーナル及びブログレスセミナー参加、実験の見学、データ解析実習、プレゼン練習	8月20日～31日、その他の期間(要相談)	可
中国・四国	徳島大学大学院医歯薬学研究所 生体防御医学分野	教授・安友康二	近隣の施設見学、近隣の教授との懇談、ジャーナル及びブログレスセミナー参加、実験の見学、データ解析実習、プレゼン練習	随時(要相談)	
中国・四国	愛媛大学大学院医学系研究科 免疫学・感染防御学講座	教授・山下政克	学内の施設見学、研究室スタッフたちとの懇談、ブログレスセミナー参加、実験の見学	随時(要相談)	可
九州	鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 感染防御学講座 免疫学分野	教授・原博満	施設見学、教室員との懇談、ジャーナル及びブログレスセミナー参加、実験の見学・実施	随時(要相談)	不可
九州	佐賀大学医学部 免疫学	教授・吉田裕樹	学内の施設見学、学内教授との懇談、ジャーナル及びブログレスセミナー参加、実験の見学、データ解析実習、プレゼン練習	7～8月(要相談)	可

Area (overseas)	Host Lab	Name	Programs	Acceptable period	
Bethesda, Maryland, USA	Thymus Biology Section, Experimental Immunology Branch, National Cancer Institute, NIH	Senior Investigator・高濱洋介	科学を考える、科学者と交流する、実験や議論に参加する	随時(要相談)	
Bethesda, Maryland (Washington metropolitan area), USA	Neuro-Oncology Branch, National Cancer Institute, NIH	Investigator・Masaki Terabe (寺部正記)	Observation of experiments, discussion with scientists from other labs, participating to lab meetings, giving a presentation of intern's data from Japan (if possible), take a tour of NIH, meeting with other investigators at NIH upon request	6月～8月(要相談)	
Braunschweig, Germany	Department Experimental Immunology, Helmholtz Centre for Infection Research	Prof. Dr. Jochen HUEHN	Experimental studies (multi-color flow cytometry, epigenetic assays, mucosal immunology, microbiota), participation at lab meetings, Journal Club presentation	August	
Berlin, Germany	German Rheumatism Research Center (DRFZ) Berlin, Leibniz Association	Group leader・Koji Tokoyoda (常世田好司)	研究所内の複数のラボに訪問してもらい、ミーティングや実験に参加してもらいます	8月～9月(9月9～13日を除く)	可
Wurzburg, Germany	Institute for Pathology, University of Wurzburg	PD Dr. Friederike Berberich-Siebelt	preparation, activation, differentiation of T cells, signal transduction analyses, presentation of own data, participation in group meetings	July ~ August	